

黒田龍之助著「ぼくたちの英語」三修社 2009年11月30日刊を読む

## ぼくたちの英語

### 1. 世間が期待する英語

- (1) どうして英語教師なのか
- (2) 英語教師の英語力
- (3) 入試対策の英語
- (4) 「ホンモノの英語」
- (5) ネイティブの英語
- (6) 留学経験者の英語
- (7) 早期から始める英語
- (8) 遊びながら学ぶ英語
- (9) 英語で教える英語
- (10) 親自身が身につけなかった英語
- (11) 国語に道を譲るべき英語
- (12) 実は多くの人が嫌っている英語
- (13) せっかく教師になれたのだから

### 2. 教室で必要な英語

- (1) 目の前の生徒は
- (2) 好き嫌いは当てにならない
- (3) どうして英語が嫌いなのか？
- (4) 単純な解決策はない
- (5) 三つの「注文」
- (6) 子音だけ発音できるか
- (7) リスニングは耳の問題か
- (8) 難しいのは文法用語ではないか
- (9) 最難関は be 動詞？
- (10) 文法書を一冊
- (11) 一対一対応ではない
- (12) 部分点を目指すな
- (13) まともな日本語に訳せるか
- (14) 公式から外れる融通性
- (15) 自習へのアドバイス
- (16) きっかけは英語

### 3 . 教師が学習する英語

- ( 1 )英語の勉強に終わりはない
- ( 2 )「フェルセンせい」
- ( 3 )『ねむたい絵本』
- ( 4 )体が覚えているリズム
- ( 5 )忙しい中で勉強する
- ( 6 )何をやっても勉強になる
- ( 7 )書店の巡り方
- ( 8 )朝は英字新聞から始める
- ( 9 )DVD は最高の教材だが...
- ( 10 )カラオケでは英語曲以外禁止
- ( 11 )音読は英語教師の基本
- ( 12 )早口言葉で舌慣らし
- ( 13 )「教養の定番」はどこまで必要か
- ( 14 )せめて一日だけでもヒマな日を

### 4 . プロ教師のための英語

- ( 1 )プロの道
- ( 2 )すべてを知っている教師はいない
- ( 3 )困ったときには
- ( 4 )マニアックな辞典ほどおもしろい
- ( 5 )英文法のリファレンス
- ( 6 )英語の歴史と方言
- ( 7 )英語の歴史は手軽に読める
- ( 8 )英語の方言の情報は意外と少ない
- ( 9 )英語教師は英語だけでいいのか？
- ( 10 )英語教師のための外国語
- ( 11 )欧米の教養・ラテン語
- ( 12 )世界の言語を紹介する
- ( 13 )英語教師のための日本語文法
- ( 14 )日本情報を英語で？

### 5 . がんばれ、新人英語教師！

- ( 1 )好き嫌いをしてはいけない
- ( 2 )歴史は繰り返す
- ( 3 )できない生徒の傾向
- ( 4 )予習よりも復習を
- ( 5 )教師の一言は影響が大きい
- ( 6 )言語は道具か
- ( 7 )弟子はいらない
- ( 8 )いっしょに考える

- (9) 教えすぎないために
- (10) おしつけがましい教師は嫌われる
- (11) 教師の「とっておき」
- (12) 裏技はあるのか
- (13) 憎まれないくらいの英語を
- (14) 魅力的な英語教師とは
- (15) 困った英語教師とは
- (16) 少しヘンでも許してくれる？
- (17) がんばれ、新人英語教師！

[コメント]

黒田先生の最新著、「ぼくたちの英語」の目次を書き抜かせていただいた。語学教師としての英語の先生に対するメッセージでこれほど暖かいものはない。

- 2010年9月27日 林 明夫記 -